

2025 年 2 月 6 日

報道関係各位

提案事業が JICA「中小企業・SDGs ビジネス支援事業」に採択

～地場産業の振興に貢献するとともに契約栽培の普及モデルの構築を目指す～

株式会社ツムラ（本社：東京港区、代表取締役社長 CEO：加藤照和、以下当社）は、ラオスにおいてコーヒーの生産団体と連携し、漢方製剤の原料となる薬用作物「柴胡」※¹ の契約栽培を通じて地域の農業振興に貢献するとともに、新たなビジネスモデルの構築を目指す事業を、独立行政法人国際協力機構（以下、JICA）が実施する「中小企業・SDGs ビジネス支援事業（JICA Biz）」に提案、採択されたことをお知らせいたします。



コーヒーとの間作の様子

サイコ

■「中小企業・SDGs ビジネス支援事業（JICA Biz）」について

JICA が国内の民間企業等を対象に募集して支援を行う「中小企業・SDGs ビジネス支援事業（JICA Biz）」は、開発途上国の課題解決に貢献する日本の民間企業等のビジネスづくりを支援するとともに、政府開発援助（ODA）を通じて築いてきた開発途上国政府とのネットワークや信頼関係、ノウハウ等を活用し、価値の共創を目的として実施されています。

2024 年度は、提案企業のビジネス段階に応じた「ニーズ確認調査」および「ビジネス化実証事業」の募集があり、計 57 件が採択され、そのうち当社は、現地パートナーの候補等を含むビジネスモデルの調査を通じ、ビジネスプラン策定を行う「ビジネス化実証事業」に応募、採択されました。

（JICA について：<https://www.jica.go.jp/about/index.html>）

（事業詳細：https://www.jica.go.jp/activities/schemes/priv_partner/activities/sme/index.html）

（JICA ニュースリリース：https://www.jica.go.jp/information/press/2024/20241223_41.html）

自然と健康を科学する

お問い合わせ先

株式会社ツムラ コーポレート・コミュニケーション室 広報グループ 担当：瀬戸、吉崎
〒107-8521 東京都港区赤坂 2-17-11 TEL.03-6361-7100 FAX.03-5574-6630

当社は、2010年にラオツムラを設立し、桂皮や乾姜などの薬用作物の調達体制がすでに構築できております。ラオスの代表的な商品作物であるコーヒーは柴胡の栽培とも相性が良く、コーヒーの新植園場に柴胡を植える「間作」を行うことで土地利用の効率化が図れることなどから、現地パートナーとして、コーヒー生産団体を選定いたしました。

当社グループでは、本事業を通じてラオスにおけるコーヒー生産団体と連携することで、現地の農業や地場産業の振興を図ることを目指してまいります。

※1 柴胡：セリ科の多年草で、不眠などの症状に対する漢方製剤に配合される。当社の医療用漢方製剤 129 処方のうち 22 処方に使用

(参考)

以上



柴胡の栽培・収穫の様子①



柴胡の栽培・収穫の様子②



収穫された柴胡



柴胡(サイコ) 薬用部位：根

ラオツムラについて

医療用漢方製剤の需要増加に伴う生薬調達を拡大させることや、南方系の原料生薬のトレーサビリティ体制を強化することを目的に 2010 年に設立。ラオスの南部に約 770ha の土地を保有し、桂皮や乾姜などの原料生薬を生産しております。

<https://www.tsumura.co.jp/corporate/group/lao/>

